

福生市立学校における英語教育の今後の展開について

1 新 5 G 「魅力ある学校づくり」、「ふっさっ子未来会議提言」を踏まえた英語教育

社会や経済のグローバル化が急速に進む中、国際社会に生きる日本人としての自覚を育むとともに、多文化共生のまちを特長としている本市において、国際共通語としての英語教育の充実・強化は、極めて重要かつ喫緊の課題。福生市立学校の特色として英語教育を展開する。

平成 27 年度までに「福生市立学校英語教育推進計画」(仮称)を策定

2 平成 26 年度の取組

(1) 慶応義塾大学との協働によるタブレットを活用した英語教育の効果検証を実施

慶応義塾大学総合政策学部、株式会社 FLENS、福生市教育委員会の 3 者協働によるタブレットを活用した英語学習を、第一学年の生徒を対象に実施

- 【モデル校】福生第一中学校、福生第二中学校、福生第三中学校
- 【実施時期】第 1 期 平成 26 年 10 月から平成 27 年 3 月
第 2 期 平成 27 年 4 月から平成 27 年 9 月

(2) 都立福生高等学校所属の A L T が、小学校で指導する「ふっさっ子夢のかけはし事業」を実施

福生高等学校英語科教員等が、市立小学校における外国語活動や国際理解教育等総合的な学習の時間等に指導する。

- 【モデル校】福生第四小学校、福生第五小学校
福生第六小学校、福生第七小学校
- 【実施時期】平成 26 年 9 月から平成 27 年 3 月

(3) 英語教育推進委員会を設置

ふっさっ子未来会議のワーキング部会として平成 26 年 8 月に設置。各小学校の外国語活動担当教員、中学校英語科教員を委員に委嘱。平成 26 年度は「福生市立学校外国語活動年間計画」を策定。各小学校の外国語活動アドバイザー活用事業の検証も行う。

3 平成 27 年度以降の取組

(1) 福生市立学校英語教育推進計画(仮称)の策定

「英語教育推進委員会」を拡充し、平成 27 年度から同 32 年度までの 5 年間に展開する英語教育の総合的な計画を策定

福生市立学校の特色としての英語教育を展開するため、
例えば、
「小学校第 1 学年から第 4 学年の外国語活動実施」
「小学校第 6 学年までに日本英語検定協会 4 級取得」
「中学校第 3 学年までに日本英語検定協会 3 級取得」等
を目指した取組について検討し、計画に位置付ける。

(2) 英語教育推進担当の課長職を新たに配置

平成 27 年 4 月に、多摩地区で初めて英語教育を推進する課長職を設置する。福生市立学校英語教育推進計画(仮称)の作成等、英語教育を推進

(3) 英語を母語とする外国人の配置について検討

現在行っている A L T 派遣を見直し、全中学校に、英語を母語とする外国人の常駐について検討

福生の子どもに、自信と誇りを持たせ、グローバル化する社会においても、円滑に人とコミュニケーションが図れる資質・能力を育成する英語教育を展開する。